

(別紙様式3)

令和5年度あいちラーニング推進事業研究報告書【重点校】

学校番号 38  
学校名 愛知県立 長久手 高等学校  
校長氏名 小芦 英生

研究責任者職・氏名	教頭・石黒 由美子	
研究テーマ	「主体的・対話的で深い学び」を目指したICT活用と授業改善の取組	
本年度の研究目標	(1) 生徒が主体的に授業に参加し、深い学びができるようにグループワークなどを積極的に実践する。 (2) ICT機器の活用について、様々な実践例を各教科にて共有し、課題を見出すようにする。	
研究の実施内容		
実施月日	内 容	備 考 (対象生徒)
4月13日	情報化推進委員の募集(教科主任会)	全学年
4月27日	情報化推進委員決定 情報化推進委員会立ち上げ	
6月20日	研究授業(地歴公民科・数学科)	
6月27日	第1回あいちラーニング推進事業尾東地区連絡協議会 授業改善の取組の現状(春日井南高校)	
8月24日	ICT機器を活用し授業実践に向けた研修(ICT支援員・情報化推進委員会主催)	
9月21日	教科会での検討事項の共有(教科主任会)	
10月6日	授業改善・ICT活用についての検討(情報化推進委員会)	
10月17日	授業参観週間	
～23日	音楽I 研究授業	
	体育 研究授業	
	生物基礎 研究授業	2年4組
	歴史総合 研究授業	1年3・7組
	古典探究 研究授業	1年3組
	医療看護英語 研究授業	1年6組
	情報I 研究授業	2年2組
	家庭基礎 研究授業	3年8組
	数学α 研究授業	1年4組
		2年4組
		1年3・7組

10月24日	公開授業・学校評議員会	全学年
11月22日	研究授業（体育科）	全学年
11月27日	授業参観週間における教科での振り返り報告（情報化推進委員会）	
1月5日	第2回あいちラーニング推進事業尾東地区連絡協議会主管校・重点校状況報告（オンライン開催）	
3月8日	研究成果の報告・共有	

### 研究成果の評価及び普及・還元に関する実績

#### 1 本校におけるICTの活用状況

本校では、ICTを授業において効果的に活用するため、教室の環境整備や機器の整備などを、教務部が中心となって行ってきたこともあり、比較的多くの教員が授業においてICT機器を活用した授業展開を行っている。今年度は、重点校に指定されたこともあり、さらなる積極的な活用や手法の共有を教科で行うこととした。

#### 2 授業参観週間の活用と成果

6月20日に高等学校教育課（地歴公民科）、総合教育センター（数学科）の学校訪問の際、研究授業を行い、研究協議、指導の内容を教科主任会で共有を行った。また、第1回あいちラーニング推進事業尾東地区連絡協議会での実践例なども共有し、10月の授業参観週間では、各教科で、ICTを用いた研究授業を企画・実施した。

授業参観・研究授業の参観については、約半数の職員が1回以上参観した。

授業におけるICTの活用方法として実践があったのは、PowerPointでの教材提示、Formsを用いた小テスト、Teamsでの課題配信やファイル共有、Class Notebookでの協働編集であった。その多くは、授業者がICTを用いて教材をより分かりやすく、効率良く提示したり配信したりすることで、生徒がより主体的に参加・活動しやすくなるという特徴があった。また、授業中だけでなく、復習や考査前の学習に活かしたり、欠席者のフォローとしても活用できたり、個に合った学び方を可能にすることも分かった。

一方で、ICTを活用して生徒（学習者）同士が協働したり、より学びを深めたりする取組については、まだ実践が少なく、効果の検証にまでは至っていない。

#### 3 今後の課題

今年度、研究授業などを通して、各教科の取組や技法を共有することができた。来年度はそれらが「普段づかい」となるよう、研究を推進させたい。また、全学年で新学習指導要領が施行となることにあわせ、評価については議論を重ねてきたが、ICTを活用した学習と評価方法についても、丁寧に検証していきたい。

※ 本研究報告書は、令和6年3月12日までに当該地区の主管校に提出する。

※ 名古屋地区においては、旭陵高校、緑丘高校、愛知総合工科高校は昭和高校へ、守山高校、愛知商業高校、南陽高校、名古屋工科高校は天白高校へ提出する。